

③地域福祉活動を支援する福祉専門職への調査（案）

大阪市では、平成 30 年 3 月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした大阪市地域福祉基本計画を策定しました。多様な人々が暮らし、働き、学び、訪れる地域で、だれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。

この調査は、「地域福祉」について、みなさまのご意見をお聞きして、今後の施策の参考にするものです。どうか、日頃のお考えを率直にお聞かせください。

※あなたのお考えに近い答えがないときや、答えられないとき、あるいは、答えたくないときは、空白のままで結構です。

【Ⅰ. だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて】

質問 1. あなたがいま担当されている地域について「暮らしやすい地域である」と感じていますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 感じる
- ☐ 2. ある程度感じる
- ☐ 3. あまり感じない
- ☐ 4. 感じない

〔質問 1 で「1. 感じる」「2. ある程度感じる」と答えた方にお聞きます。〕

質問 1 - 1. あなたは、担当の地域のどのようなところに「暮らしやすい地域である」と感じていますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近所付き合いや地域とのつながりがあるところ
- ☐ 2. 地域活動やボランティア活動が活発なところ
- ☐ 3. 福祉や医療サービスが充実しているところ
- ☐ 4. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利なところ
- ☐ 5. 静けさや緑が多いなど、環境がよいところ
- ☐ 6. 治安がよいなど、安心して住めるところ
- ☐ 7. 公共施設や道路のバリアフリーが進んでいるところ
- ☐ 8. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実しているところ
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 2. 担当の地域がより暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近所付き合いや地域とのつながり
- ☐ 2. 活発な地域活動やボランティア活動
- ☐ 3. 福祉や医療サービスの充実
- ☐ 4. 買い物や通勤・通学など日常生活の便利さ
- ☐ 5. 静けさや緑が多いなどの環境のよさ

- ☐ 6. 安心して住める治安のよさ
- ☐ 7. 公共施設や道路のバリアフリー化
- ☐ 8. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設の充実
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 10. わからない

【Ⅱ. 地域での支え合い・助け合いについて】

質問 3. いま担当している地域は、「つながりのある地域」だと思いますか。

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. ある程度そう思う
- ☐ 3. あまりそう思わない
- ☐ 4. そう思わない

〔質問 3 で「1. そう思う」「2. ある程度そう思う」と答えた方にお聞きます。〕

質問 3－1. 担当する地域が「つながりのある地域」だと思う理由は何ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近隣の住民同士のあいさつや声かけがあるから
- ☐ 2. 地域における日常の見守り活動があるから
- ☐ 3. 地域の人に困りごとなどの相談をする人がいるから（場があるから）
- ☐ 4. お祭りなどの地域の行事が開催され多くの人が参加しているから
- ☐ 5. 地域活動やボランティア活動が活発に行われているから
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：_____）

質問 4. どのようにすれば、地域でお住まいの方が地域の「つながり」を実感することができるようになると思いますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に ✓ 印をおつけください。

- ☐ 1. お祭りなどの地域の行事等に参加してもらう
- ☐ 2. 地域福祉活動やボランティア活動に参加してもらう
- ☐ 3. ご近所同士で普段からの声のかけあい
- ☐ 4. 広報誌などで「つながり」の重要性を周知する
- ☐ 5. 地域福祉の推進役などが普段の困りごとの相談にのる
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 7. わからない

【Ⅲ. 地域福祉活動について】

質問 5. 担当されている地域で、どのような地域福祉活動が求められていると感じていますか。あなたの考えに近い答えに ✓ 印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 日常の見守りや声かけなど住民同士のつながりをつくる活動
- ☐ 2. 子どもや子育て支援に関する活動
- ☐ 3. 高齢者を支援する活動

- ☐ 4. 障がいのある方を支援する活動
- ☐ 5. 地域防災及び防犯などに関する活動
- ☐ 6. 地域の高齢者と子どもとの世代間交流活動
- ☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 8. わからない

質問 6. 地域福祉活動が抱える一番の課題は何だと思われますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。
（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 活動の担い手不足（担い手の高齢化）
- ☐ 2. 活動場所の不足
- ☐ 3. 活動資金の不足
- ☐ 4. 地域福祉活動の担い手を支える福祉専門職の人材不足
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 6. わからない

【Ⅳ. 住民主体の地域課題の解決力強化について】

質問 7. あなたが担当されている地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けて取り組む体制が整っていると感じますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 整っている
- ☐ 2. ある程度整っている
- ☐ 3. 整っていない
- ☐ 4. わからない

質問 8. 地域課題やニーズについて、地域全体で解決に向けて取り組む体制を整えていくためには何が必要であると考えますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 社会福祉協議会など福祉専門職による支援
- ☐ 2. 行政による支援
- ☐ 3. 活動をおこなう場所
- ☐ 4. 活動のための資金
- ☐ 5. 活動をおこなう人材が継続的に活動を続けられる仕組み
- ☐ 6. 活動の担い手の後継者
- ☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 8. わからない

質問 9. あなたが担当する地域において、どのような地域福祉活動への支援が求められていると思いますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言

- ☐ 2. 活動者を対象とした会議や研修などの開催
- ☐ 3. 地域課題を解決するための会議への参画
- ☐ 4. 新たな活動の立ち上げ支援
- ☐ 5. 広報啓発活動への支援
- ☐ 6. 地域福祉活動の担い手の養成への支援
- ☐ 7. 地域資源の開発
- ☐ 8. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 9. 特にない

質問 10. 福祉専門職が地域福祉活動への支援をおこなっていくうえでの課題は何か。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 地域（住民）の福祉専門職への理解
- ☐ 2. 専門性の向上
- ☐ 3. 雇用の安定性
- ☐ 4. 職場における体制
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. 特にない

【V. 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進】

質問 11. 地域住民、地縁団体、行政・社協を除いて、あなたの地域において地域福祉活動に参画している主体は次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 地域で活動している社会福祉法人（社会福祉施設等）
- ☐ 2. 地域で活動している NPO 法人などの市民活動団体
- ☐ 3. 企業
- ☐ 4. 個人事業主
- ☐ 5. 学校
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 7. 特にない
- ☐ 8. 知らない

質問 12. 地域住民、地縁団体、行政・社協を除く主体が実施する社会福祉活動に期待することは次のうちどれか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 専門性（知識やノウハウ）を活かした活動
- ☐ 2. 豊富な人材を活かした活動
- ☐ 3. 資金協力（行事への協賛など）
- ☐ 4. 継続的な参画
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. 特にない

質問 13. あなたが地域福祉活動支援をおこなっている地域で、どのような社会資源の活用が求められていると考えていますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 地域で活動している社会福祉法人（社会福祉施設等）
- ☐ 2. 地域で活動している NPO 法人などの市民活動団体
- ☐ 3. 地域にある企業
- ☐ 4. 地域にいる専門的なスキルを有する人材
- ☐ 5. 市内の大学や専門学校などに通う学生
- ☐ 6. 地域にある地域集会施設やコミュニティ施設
- ☐ 7. 空き家や空き店舗
- ☐ 8. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 9. 特になし

質問 14. 地域にある社会資源を活用しやすくするには何が必要と考えますか。（回答は1つ）

- ☐ 1. 地域にある社会資源の情報
- ☐ 2. 人材の交流の場
- ☐ 3. 活用に要する手続きの簡素化
- ☐ 4. 活用に要する費用の低廉化
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. わからない

【Ⅵ. 災害への備えについて】

質問 15. 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営を行うことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。あなたの考えに近いもの 3つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをする程度の関係はつくっておくこと
- ☐ 2. 避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと
- ☐ 3. 住民同士で互いの家庭状況（家族構成・介護の必要等）についてある程度知っておくこと
- ☐ 4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
- ☐ 5. ハザードマップ等で地域の危険な場所を知っておくこと
- ☐ 6. 地域の災害時避難所を知っておくこと
- ☐ 7. 避難勧告・避難指示（緊急）などの意味を知っておくこと
- ☐ 8. 防災訓練に参加すること
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 10. わからない

【Ⅶ. 地域おける見守活動について】

質問 16. 大阪市では、民生委員・児童委員による訪問活動や、ボランティアによる児童の登下校の見守り、老人クラ

ブなどの地域住民による友愛訪問、災害時の要援護者名簿を活用した地域での見守り活動などがおこなわれていますが、あなたは担当の地域で行われている見守り活動の課題は何であると考えますか。あなたの考えに近いもの3つ以内に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 見守りの対象となる世帯の増加
☐ 2. 町会等による地縁関係の希薄化
☐ 3. 担い手の不足（担い手の高齢化）
☐ 4. 見守り活動の認知不足
☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
☐ 6. わからない

【Ⅷ. あなたご自身のことについて】

〔ご協力ありがとうございました。今までお聞きしたことを整理するために、あなたご自身のことなどをおきかせください。〕

A. あなたの性別について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 男性 ☐ 2. 女性 ☐ 3. その他、または、答えたくない

B. あなたの年齢について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 10 歳代 ☐ 2. 20 歳代 ☐ 3. 30 歳代
☐ 4. 40 歳代 ☐ 5. 50 歳代 ☐ 6. 60 歳代
☐ 7. 70 歳代 ☐ 8. 80 歳以上

C. あなたが担当している区に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 北区 ☐ 2. 都島区 ☐ 3. 福島区 ☐ 4. 此花区
☐ 5. 中央区 ☐ 6. 西区 ☐ 7. 港区 ☐ 8. 大正区
☐ 9. 天王寺区 ☐ 10. 浪速区 ☐ 11. 西淀川区 ☐ 12. 淀川区
☐ 13. 東淀川区 ☐ 14. 東成区 ☐ 15. 生野区 ☐ 16. 旭区
☐ 17. 城東区 ☐ 18. 鶴見区 ☐ 19. 阿倍野区 ☐ 20. 住之江区
☐ 21. 住吉区 ☐ 22. 東住吉区 ☐ 23. 平野区 ☐ 24. 西成区

D. あなたの福祉専門職としての職名は何ですか。

- ☐ 1. 区社会福祉協議会の地域支援担当職員
☐ 2. 見守り相談室 CSW（見守り相談員）
☐ 3. 生活支援コーディネーター
☐ 4. その他（具体的にお書き下さい：.....）

大変お手数をおかけしました。
 同封の封筒に入れて、ご返送ください。
 ご協力ありがとうございました。